

先端科学講座 医学系講座

1 目的

東京大学大学院医学系研究科へ訪問し、講義の受講や研究施設の見学、実習等の医学に関する研究現場の「今」を知ること、最先端の科学技術や研究を学び、科学的な探究心を養うことを目的とした。

2 概要

(1) 講座名

「高々生にしか教えてくれない、東京大学の医学系研究室の今」

(2) 対象

医学部医学科や東京大学での研究を志望する1年生、2年生の計20名が参加した。

(3) 会場

東京大学大学院医学系研究科

(4) 講師

岸 哲史 特任講師

村越 海斗 さん(大学院情報理工学系研究科修士課程)

高橋 りい菜 さん(大学院医学系研究科博士課程)

(5) 日程

令和6年10月26日(土)

10時00分～11時00分 岸哲史特任講師による講義 『睡眠の研究について』

11時00分～11時50分 村越海斗さんによる講義(大学生活及び研究の紹介等)

12時40分～13時10分 大学キャンパス見学

13時10分～14時00分 高橋りい菜さんによる講義(大学生活及び研究の紹介等)

14時10分～14時50分 実習(睡眠時の脳波を計測する装置・ラボの機器の操作等)

14時50分～15時00分 まとめ

(6) 内容(所感)

岸先生が研究されている睡眠に関する講義や研究の様子、睡眠時の脳波を測定する実習等、充実した内容であった。近年、非常に注目

されている『睡眠』の最先端の研究に触れられて、参加した生徒にとっては、とても価値のある経験になったと思う。

(7) 参加した生徒の感想(一部)

- ・普段は入れない東大の建物の中を見ることが、なかなか聞くことのできない職員の方による解説を聞くことなど、珍しく、また有意義な体験ができた。また、院生の身近な話を聞くことができ、とてもありがたかった。
- ・講義では、睡眠(昼寝や、日中のパフォーマンスに与える影響など)に関することを学ぶ機会があり、最近睡眠不足になっている自分自身にとってはとても参考になった。また、東大の医学系の施設の見学では、東大でしていることが詳しくわかった。この講座で、東大へ進む決意がより固まり、改めてとても有意義なものであったと感じた。
- ・実際に東大ということもあって最先端の実験を行っていることが分かった。日本トップの大学で大学生がどのようなことを行っているのかよく知ることができた。本当に有意義な活動だった。

